

事務連絡
令和4年1月24日

公益社団法人 全国産業資源循環連合会 御中

国土交通省自動車整備課長



大型トラックの車輪脱落事故防止について（協力依頼）

近年、大型トラック（車両総重量8トン以上）の車輪脱落事故が増加する傾向にあることから、国土交通省では車輪脱落事故防止に向けた様々な対策を強化するとともに、令和3年10月から令和4年2月の期間で「車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、タイヤの適切な交換作業の実施や、タイヤ交換後50～100km走行後のナットの確実な増し締め等について、大型トラックの使用者に対して周知・啓発活動に取り組んでいるところです。

しかしながら、年明けより相次いで走行中の大型ダンプ車から車輪が脱落し、歩行者等に衝突する事故が発生しました。報道によれば、事故により重傷を負われた方もおられます。このように大型トラックの車輪脱落事故は、大事故に繋がりがねない大変危険なものです。

つきまして、所有する大型トラックのナットに緩みがないか点検して頂き、走行中タイヤが脱落することのないよう確実な保守管理に努めて頂きますよう、貴会傘下会員への周知方、御協力の程宜しくお願いいたします。

<点検・整備のポイント>

はじめに

タイヤ交換後、50～100km 走行後、ナットの増し締めが必ず必要です。増し締めをされていない場合には、必ず実施して下さい。

日々の点検・整備

（点検）ボルト・ナットが脱落していないか確認してください。

（整備）脱落している場合、ボルト・ナットを取り付けてください。

（点検）ナットに緩みがないか確認してください。

（整備）緩みがある場合、増し締めしてください。

（点検）ボルト・ナットにさび汁や著しいさびがないか確認してください。

（整備）さび汁や著しくさびがある場合、ボルト・ナットを交換してください。

※詳細につきましては、添付のパンフレットをご参照ください。